

箱根組ニュース

第389号 2025年 11月号

編集発行人 戸丸悟

都民の森でハイキング、沢沿いの登りは手応え十分。レストランで舞茸天に舌鼓！

10月19日（日）、JR新宿駅7時21分発の中央特快高尾行きに乗車。

立川駅7時46分着。7時56分発の青梅線青梅行きに乗車。再び拝島駅で8時13分発の武藏五日市行きに乗り換える。

武藏五日市駅に8時31分着。降り立つたのは有倉、星野（幸）、布施、奥村、

和田、及川、戸丸の7名。

改札を出るとバス停手前で神山、そしてその友人の中瀬、佐脇（初参加）の3名が待っていた。ということで今回の参加者は10名ということになつた。

9時発の数馬行きのバスは臨時も出て2台での発車となつた。

終点の数馬バス停で連絡の無料バスに乗り換えて都民の森へ向けて標高を

さらに上げてゆく。

10時5分頃、都民の森バス停着。こ

こはすでに標高1000m。

トイレ休憩と身支度をした後、準備体操。いつもなら布施さんの太極拳だが、中瀬さんがやはり太極拳を10年ほど

なさつているとのことで、今日は中瀬さんのリードにみんながついてゆく。

10時38分、及川さん先頭で歩きだす。まずは森林館に向けて緩やかな上りだが意外に足に来る。お土産屋さんを見ながら進むと「ひのはら都民の森」という大きな大きな看板がやはり左側に立つていて。

シソによく似た葉で、やはりシソの花のような薄紫の花穂を付けていた花は調べてみたら、シソ科の「カメバヒキオコシ」（亀葉引き起し）だった。

10時45分、道は二つに分かれていて右はトンネル経由で左は階段だが係の人方が左の方が早いというので左の階段を選んで進むがなかなか手ごわい。

10時50分、森林館の角に到着。

有倉さんは体調が今一つということとで森林館に畳の休憩所があることがわかつていたのでここで休んでいただくことにした。

残る9名は左側の大滝の路（森林セラピーロード）で大滝を目指す。足元には

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！



深くウッドチップが敷かれていてふんわりして衝撃を抑えて足にやさしい。

小さな白い花を上に向かって広げているのは多分シシウドの花。少し弱い雨が落ちているがそれほど気にはならないくらいだ。気温は低いので要注意。足元には大きな枯葉がたくさん落ちている、たぶん柄の葉だ。広葉樹の森は少し色づき始めているがまだまだ見ごろはまだ先のようだ。白い菊のような花はたぶん「シロヨメナ」だろう。

星の形のような不思議な花と思つたら「ハナビゼリ」(花火ぜり)の実のようだ。毒のある「トリカブト」はまだ紫の花を付けている。

11時8分、展望地に到着。標高1078m。写真の掲示板には東京湾方面とも書いて見える。

マブドウの葉が少し進むとや

収支	30815円
繰越	円
収入	円
支出	
ニュース/HP作成	500円
当日プリント代	100円
現在高	30215円

赤く色づいている。小さな真つ赤な実がぽつんと一、二個ついている。名前はわからぬい。

11時23分、右にケヤキの路と分岐があるが坂を登つて行くルートのようだ。まつすぐは三頭大滝と示している。

11時33分、左に降りると三頭大滝の吊り橋に到着。これまで何度も来ていてが滝の水量が多く迫力がある。落差33mとのこと。橋の上で記念撮影。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、カツプ、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 11月14日(金)

御岳山のケーブルを往復利用で、御岳山駅からの出山を往復する短いコースです。

(御岳山には行きません)

11月16日(日) 日の出山(902m)

軽いレギュラーコース 歩行 約2時間30分

集合11月16日(日)JR新宿駅(11番線)
6:45発 ホリデー快速おくたま1号

青梅行き(前から3両目)

途中駅発 中野6:50 三鷹6:59 国分寺7:06
立川7:15 西立川7:20 拝島7:30 福生7:35

青梅7:46着(乗り換え)7:49発
ホリデー快速おくたま81号 奥多摩行き
御嶽8:06着(バス乗り換え)
ケーブル下り8:12又は8:38

交通費 新宿~御嶽 片道 945円
御嶽~ケーブル下バス 片道 400円
御岳山ケーブル 往復 1200円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>

12時9分、左、石山・深山の路、右
ブナの路とある。右に登つて行く。

ここからが本格的な山道で、もはやラ
クダコースではないが、みんな元気に登
つて行く。石の段差もあり濡れているの
で滑らないように慎重に登る。細い沢を
渡り、なおも進んでゆく。

辺りにキヤラメルを焦がしたような
甘い香ばしいにおいが立ち込めていた。

桂の木の落ち葉からにおいが立ち上つ

ているようだ。
調べてみると桂の語源は香出ら（かづ
ら）のようで、木犀や月桂樹などの香木
の総称として使われているらしくこれ
らとの混同もされているようだ。とにかく
く甘い香りの山道を登つて行く。小雨で
濡れているので余計に香りが立つてい
るようだ。

岩の苔の上にびっしりとホコリタケ
らしきキノコが密集してて圧巻だ。

12時39分、標高1200mのブナ
の路テラスに到着。一休み。ここが最高
点かと思つたらまだもう少し登りが続
いていた。

今度は森の中の気持ちの良い下りだ。

1時40分位だろうか朝のウッドチ
ップの道に出る。

2時過ぎ、森林館のレストランで有倉
さんと無事合流。

各々舞茸てんぶらそばやうどんを注
文して遅い昼食。注文してから揚げてい
るようでなかなか美味しかった。

3時過ぎ、森林館前で記念撮影。バス
の時刻まで時間があるのでゆっくりと
森林館内を見学。都民の森の立体模型や
栎の木や桂の巨樹の写真は見事だった。
高山植物の写真も良かつた。実物のチエ
ーンソーアートのフクロウやクマも見
事だった。どれも1時間ほどで作つてい

るということだがなかなかだ。ひ3
のじやが君というのはまるでアンパン
マンのようだつた。

貸し出し用の登山靴が10足も置い
てあるのには驚いた。

また、7月には今日歩いたかおりの路
の野鳥観察小屋付近でクマの目撃情報
も書かれていた。

3時半頃、バス停に向かつて歩き出す。
3時50分の数馬行きのバスに乗車。乗
り換えた武藏五日市行きのバスは満員
で全員は座れなかつた。無事に武藏五日
市駅に到着。



